

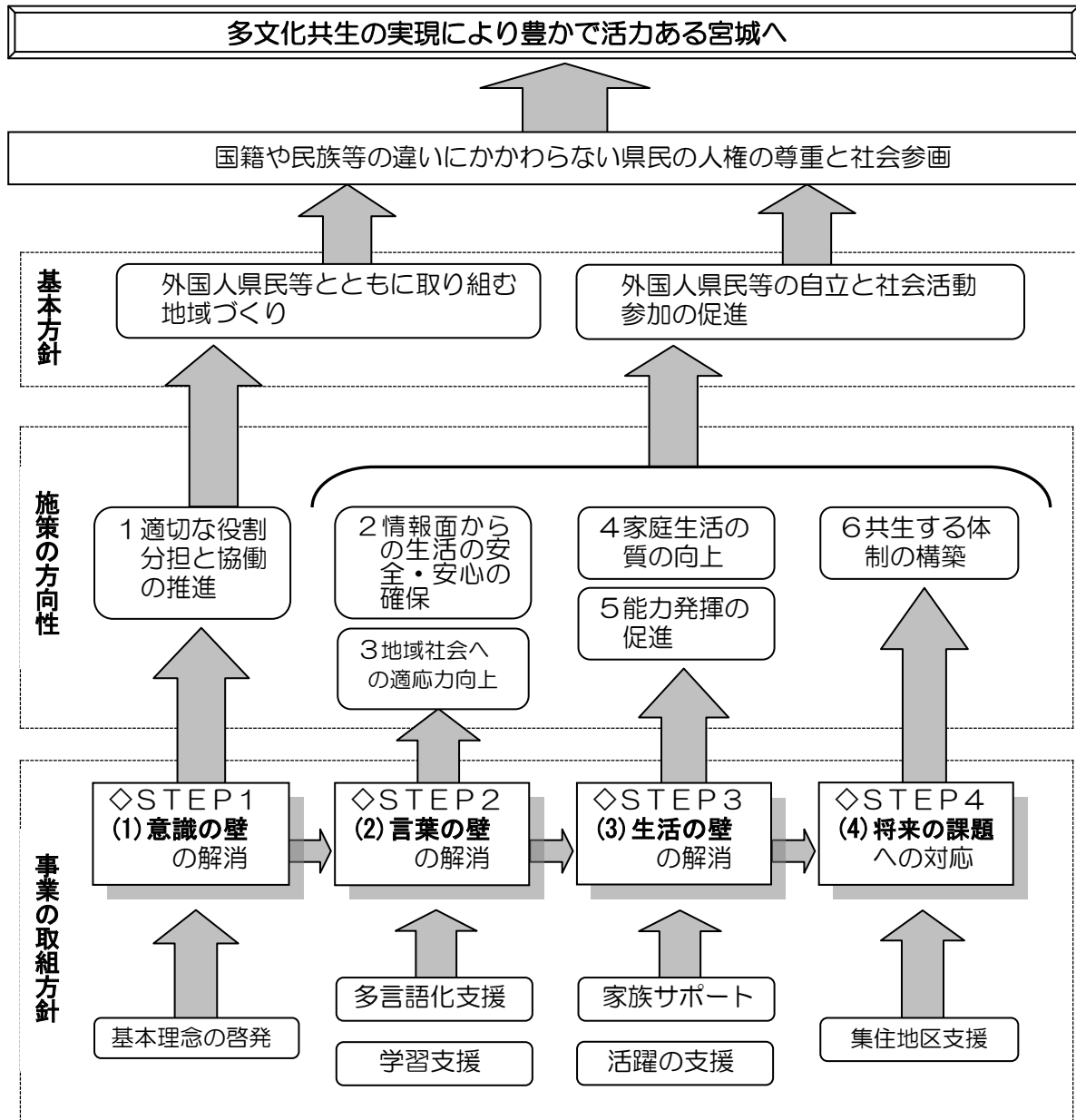
平成 2 5 年度多文化共生社会の形成の推進に関して講じた施策
【多文化共生社会の形成の推進に関する条例第 2 1 条に基づく報告】

平成 2 6 年 6 月
宮 城 県

目 次

I	基本方針と多文化共生施策の方向性	1
II	平成25年度に講じた多文化共生施策	
1	「意識の壁」の解消	
(1)	シンポジウム開催事業	2
(2)	啓発ツール作成事業	3
(3)	審議会運営事業	4
(4)	連絡会議運営事業	5
2	「言葉の壁」の解消	
(1)	災害時通訳ボランティア整備事業	6
(2)	ヘルプカード作成事業	7
3	「生活の壁」の解消	
(1)	外国人相談センター設置事業	9
(2)	多文化共生研修会開催事業	10
III	宮城県多文化共生社会推進計画の評価指標における進捗状況	11

I 基本方針と多文化共生施策の方向性（宮城県多文化共生社会推進計画より）



【参考1】多文化共生社会の定義（条例第2条関係）

「多文化共生社会」とは、国籍、民族等の異なる人々が、互いに、文化的背景等の違いを認め、及び人権を尊重し、地域社会の対等な構成員として共に生きる社会をいう。

【参考2】議会への報告等（条例第21条関係）

知事は、毎年度、多文化共生社会の形成の推進に関して講じた施策を県議会に報告するとともに、公表するものとする。

Ⅱ 平成25年度に講じた多文化共生施策

1 「意識の壁」の解消

【事業の取組方針】

「意識の壁」の解消に向け、広く基本理念の普及・啓発を行い、県民や関係機関等との推進体制の整備を図る。

(1) シンポジウム開催事業（事業費：209千円）

石巻市との共催で「多文化共生シンポジウム in 石巻～外国人の地域社会参画によるコミュニティ形成について考える～」を開催した。

東日本大震災を振り返りながら在住外国籍住民の安否確認について基調講演を行い、地域に暮らす在住外国人の地域参画について、パネルディスカッションを通して県民の多文化共生に関する理解促進を図った。

■日時・場所：平成26年1月26日（日） 午後1時00分～午後3時30分

石巻市遊楽館 大会議室

■来場者数：約70人

■プログラム：

□基調講演：「在住外国籍住民の安否確認～東日本大震災をふりかえって～」

(財) 自治体国際化協会業務部長 高橋政司 氏

□施策紹介：「(仮) いしのまき多文化共生社会推進基本計画の概要」

石巻市復興政策部地域協働課長 安倍秀一 氏

□パネルディスカッション：「外国人の地域社会参画による地域づくり」

・コメンテーター (公財) 宮城県国際化協会事務局次長兼企画事業課長 大村昌枝 氏

・コーディネーター (財) 自治体国際化協会業務部長 高橋政司 氏

・パネリスト 多文化ファミリー会とめ会長 小野寺正幸 氏

NPO法人国際支援地球村理事長 梶原美佳 氏

定住外国人就学支援員 高橋あゆ美 氏

石巻専修大学人間学部人間文化学科准教授

リチャード・ハルバーシュタット氏





(ポスター・チラシ)

(2) 啓発ツール作成事業 (事業費：276千円)

多文化共生の基本理念の普及啓発を図るため、「みやぎ外国人相談センター広報用カード」、多文化共生社会名入れ封筒やパネルを作成した。これらは、シンポジウムや研修会での配布や掲示を行うことなどにより多文化共生社会に関して県民に周知するとともに、外国語による相談先について多くの外国人県民への周知を行った。



(広報用カード)



(多文化共生名入れ封筒)



(シンポジウム会場等でのパネル掲出)

(3) 審議会運営事業（事業費：334千円）

宮城県多文化共生社会推進審議会を開催し、平成24年度に講じた施策について審議を行ったほか、平成25年度実施事業等についての御意見をいただいた。平成21年度に策定した推進計画が終期を迎えるため、年4回審議会を開催し、「第2期宮城県多文化共生社会推進計画」を策定した。

今後も委員の方々からの助言や意見について施策に反映していくことができるよう努めていく。

- 【第1回】：平成25年 6月 5日（水） 委員出席：8人
- 【第2回】：平成25年 9月 2日（月） 委員出席：8人
- 【第3回】：平成25年11月 6日（火） 委員出席：7人
- 【第4回】：平成25年12月20日（金） 委員出席：6人

■委員名簿（敬称略・五十音順）

任期：平成25年12月1日～平成27年11月30日

職 名	氏 名	備考
仙台市立八幡小学校教諭	阿 部 実智代	
東北大学大学院教育学研究科准教授	李 仁 子	
宮城教育大学附属国際理解教育研究センター教授	市 瀬 智 紀	会 長
宮城県商工会連合会専務理事	加 藤 亨 二	
行政書士金東暎事務所代表	金 東 暎	
みやぎ外国人相談センター相談員	小 関 一 絵	
東北大学国際交流センター教授	末 松 和 子	副会長
宮城労働局職業安定部長	藤 浪 竜 哉	
前宮城県女性相談センター次長	古 山 しづ江	
公募委員	宮 澤 イザベル	



(審議中の様子)



(答申書及び計画案の提出)

(4) 連絡会議運営事業 (事業費：10千円)

多文化共生社会推進連絡会議を開催し、行政機関、地域国際化協会や国際交流団体など関係機関によるネットワークの基盤を構築し、多文化共生社会推進のための課題解決を図った。

平成25年度は、「第2期宮城県多文化共生社会推進計画」の策定内容について協議し、意見交換等行った。

■日時：平成25年10月9日(水)

■出席者：16人

2 「言葉の壁」の解消

【事業の取組方針】

「言葉の壁」の解消に向け、多言語化支援を行うとともに、外国人県民等への学習支援を図る。

(1) 災害時通訳ボランティア整備事業（事業費：355千円）

(公財)宮城県国際化協会へ委託し、大規模災害が発生した際に、被災地からの要請に応じ速やかに通訳ボランティアを派遣できるよう、通訳ボランティアの確保・養成を行った。平成25年度末までに117人を確保し、20言語での対応が可能となった。

■ボランティア派遣の実績

平成25年度9.1総合防災訓練会場（川崎町）に6名派遣し、多言語放送（英語、ハングル、中国語）や、災害ボランティアセンターで外国人被災者やボランティアの受け入れを想定した受付の模擬訓練を行った。



(9.1 総合防災訓練の様子)

■研修会の開催

名称：災害時通訳ボランティア・県国際化協会外国人支援通訳サポーター合同研修会

研修テーマ：「東日本大震災・・・語学人材はどう活かされたか？」

実施日：平成25年5月11日（日） 参加者：23人

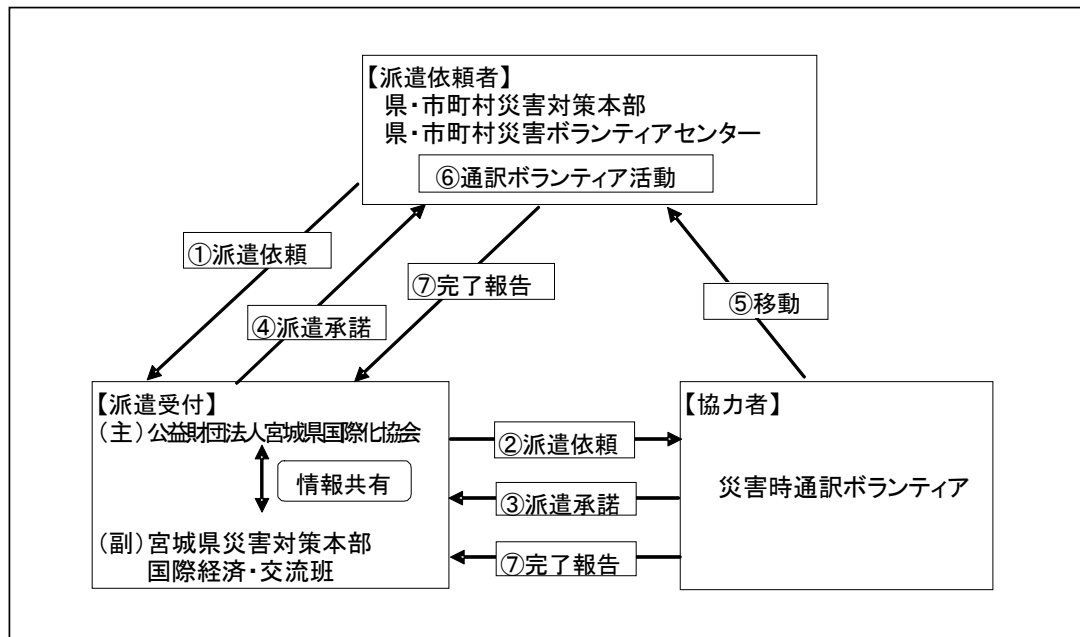


(研修会の様子)

■通訳ボランティア対応可能言語（20言語）

英語，中国語，韓国語，インドネシア語，ウクライナ語，ウルドゥ語，スペイン語，タイ語，台湾語，タガログ語，ドイツ語，トルコ語，ヒンディ語，ビルマ語，フランス語，ベトナム語，ペルシア語，ポルトガル語，モンゴル語，ロシア語

■派遣フロー図



(2) 外国人向け緊急用携帯マニュアル「ヘルプカード」作成事業（事業費：275千円）

日本語の理解が不十分な外国人県民に対して，病気や災害等の緊急時に身を守ることを目的として，周囲の日本人に意思表示や質問を行うことが可能となる携帯用カードを作成し，配布した。

■内 容：「相談・助言」，「火事・救急」，「事故・盗難」，「災害」の5分野について，携帯用サイズのカードで持ち歩くことができ，日本語が話せなくても必要な時に自らの状況を知らせる手段となる。【B4横1/2・8つ折，8ページ】

■対応言語：日本語（ふりがな付き），英語，中国語，韓国語，タガログ語

■作成部数：3,000部

■配布場所：各市町村の住民登録窓口，多文化共生担当課，各市町国際交流協会，入国管理局，日本語講座等

3 「生活の壁」の解消

【事業の取組方針】

「生活の壁」の解消に向け、外国人県民等の家族サポートを行うとともに、活躍の支援を図る。

(1) 外国人相談センター設置事業（事業費：2,952千円）

外国人県民やその家族等の日々の困りごとの相談に対し、必要な情報提供や専門窓口の紹介など問題解決に向けたアドバイスを多言語で行う「みやぎ外国人相談センター」を設置し、(公財)宮城県国際化協会への委託事業として実施した。

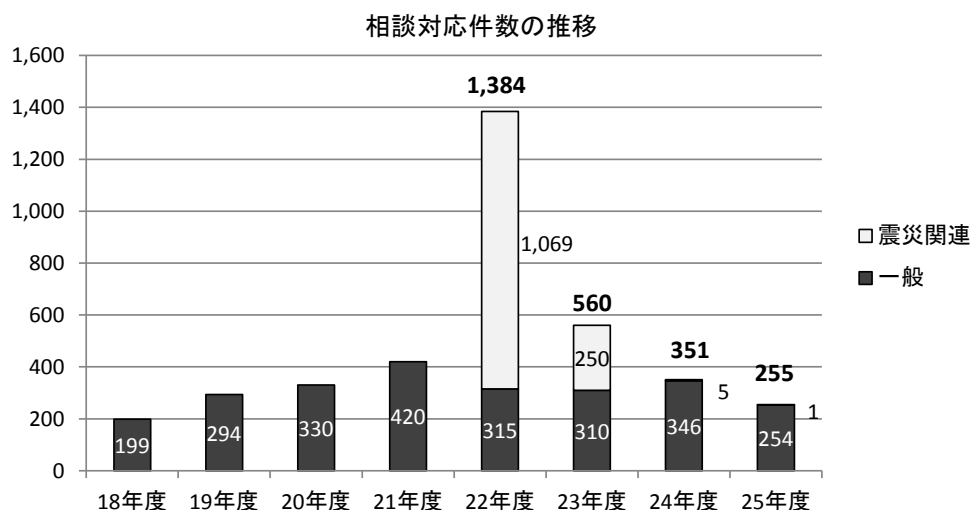
下記のとおり、必要な情報提供や専門窓口の紹介など問題解決に向けたアドバイスを行い、外国人県民の不安解消、問題解決等に寄与した。

相談センターには、外国人県民、相談機関の担当者と、相談センター通訳者の三者での通話が可能な「トリオフォン」機能を付加した電話機を設置していることから、みやぎ県政だより、新聞の県からのお知らせにより広報を行い、一般県民、相談機関担当者に対する周知を図った。

■対応言語と対応曜日・時間

日本語、中国語、英語	：月曜日～金曜日	午前8時30分～午後5時15分
韓国語	：月曜日～金曜日	午前10時～午後4時45分
タガログ語	：水曜日	午前10時～午後4時45分
ポルトガル語	：金曜日	午前10時～午後4時45分

■相談対応件数 255件



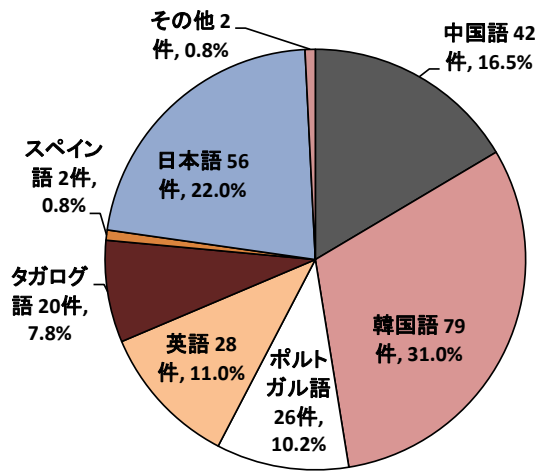
■男女別構成比

女性 207件(81%)、男性 48件(19%)

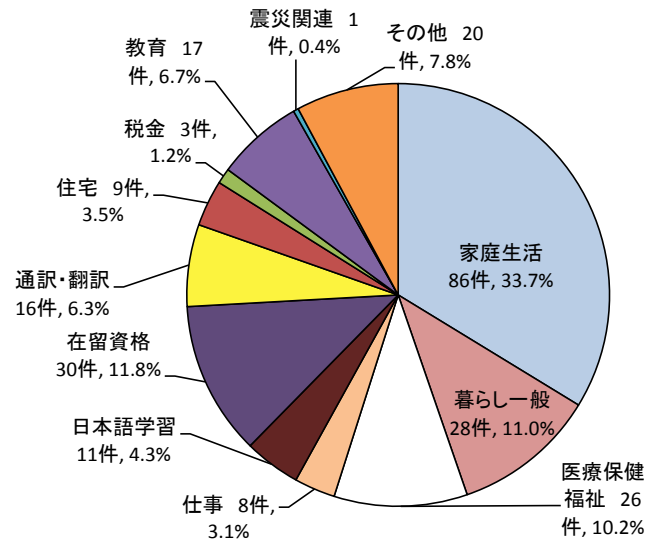
■相談手段

来所 23件(9%)、電話 232件(91%)

■相談対応言語



■相談内容



(2) 多文化共生研修会開催事業（事業費：17千円）

外国人等からの相談を受ける立場にある市町村、国際交流協会、相談センター等の担当職員の対応技能向上を図るため研修会を開催し、新しい在留管理制度の留意点や外国人の住民基本台帳制度についての理解を深めた。

■日時・場所：平成26年2月18日（火）午後1時30分から午後3時30分まで
（公財）宮城県国際化協会研修室

■参加者：県内市町、県内国際交流協会職員等37人

■内容：

①講義 「新たな在留管理制度及び外国人住民の住民基本台帳制度について」

山形県河北町役場税務町民課 主事 芳賀紗耶乃 氏

②講義 「新しい在留管理制度の留意点について」

行政書士 櫻井 克俊 氏

■研修会の様子



Ⅲ 宮城県多文化共生社会推進計画の評価指標における進捗状況

評価指標 1 県民意識調査「外国人も活躍できる地域づくり」に対して「重視する」と回答している割合

■指標説明

県が実施している「県民意識調査（選挙人名簿から県内在住の20歳以上の男女4,000人を無作為抽出）」で、「宮城の将来ビジョン」に掲げる33の取組のうち「26外国人も活躍できる地域づくり」について、「重要」、「やや重要」と回答した人の割合。

■目標設定 H20：44.0% ⇒ H25：60.0%

【考え方】

「宮城の将来ビジョン」に掲げる33の取組のうち中分類「安心と活力に満ちた地域社会づくり」に属する他の13の取組の平均重視割合は77.5%であり、当該取組の44.0%からその中間値まで引き上げることを目標に設定

■進捗状況 H21：45.6% ⇒ H23：40.3%

【結果】

県民意識調査は隔年調査であり、前回調査（H21）より5.3ポイント低下した。

（H24から実施している県民意識調査は、復旧・復興の進捗状況に関する項目、宮城県震災復興計画等に関する調査のため、当該項目に関する調査は実施していない。）

評価指標 2 多言語による生活情報の提供実施市町村数

■指標説明

生活に関する情報を日本語以外の言語で提供している県内の市町村の数

■目標設定 H20：5市町村 ⇒ H25：10市町村

【考え方】

最終的には全市町村における実施が望ましいが、当面は倍増を目標に設定

■進捗状況 H21：7市町村 ⇒ H22：7市町村 ⇒ H23：7市町村 ⇒ H24：9市町村 ⇒ H25：11市町村

【結果】

実施市町村：仙台市、石巻市、名取市、栗原市、大崎市、亶理町、山元町、松島町、美里町 【H25より】登米市、柴田町

評価指標 3 日本語講座開設数

■指標説明

県内で開設されている日本語講座や日本語教室の数

■目標設定 H20：25講座 ⇒ H25：30講座

【考え方】

それまで8市5町で日本語講座が開設されていたが、人口の多い市部には最低1講座は必要と考えられることから、まだ開設されていない5市における開設を目標に設定

■進捗状況 H21：27講座 ⇒ H22：26講座 ⇒ H23：27講座 ⇒ H24：28講座 ⇒ H25：27講座

【結果】

実施市町村：仙台市（13講座）、石巻市、気仙沼市、名取市、角田市、岩沼市、登米市、栗原市、大崎市、川崎町、亶理町、松島町、利府町、美里町、南三陸町

評価指標 4 外国人相談対応体制を整備している市町村数

■指標説明

外国人からの外国語相談に対応できる体制を整備している県内の市町村の数

■目標設定 H20：4市町村 ⇒ H25：8市町村

【考え方】

それまでの4市町村から倍増を目標に設定

■進捗状況 H21：4市町村 ⇒ H22：5市町村 ⇒ H23：5市町村 ⇒ H24：5市町村 ⇒ H25：6市町村

【結果】

実施市町村：仙台市、石巻市、気仙沼市、川崎町、登米市
【H25より】角田市

評価指標 5 永住者の求職者に対する就職率

■指標説明

外国人永住者（一般に日本語能力が高い）からの県内ハローワークにおける「新規求職受理件数」に対する「就職件数」の割合

■目標設定 H20：26.8% ⇒ H25：43.0%

【考え方】

H20（H19実績）から、それまでの過去5年間の伸び率（+8%）を倍増させた率（+16%）を加算し目標に設定

■進捗状況 H21：17.2% ⇒ H22：22.1% ⇒ H23：21.7% ⇒ H24：33.2% ⇒ H25：38.6%

【結果】

H25（H24実績）の外国人永住者の就職率は、38.6%と、前年度に比べ5.4ポイントの上昇

平成25年度多文化共生社会の形成の推進に関して講じた施策
(多文化共生社会の形成の推進に関する条例第21条に基づく報告)

平成26年6月

【編集】 宮城県経済商工観光部国際経済・交流課

〒980-8570 仙台市青葉区本町三丁目8番1号

TEL 022-211-2972 FAX 022-268-4639

E-mail kokusai@pref.miyagi.jp

URL <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/ftp-kokusai/>